

日本工学院八王子専門学校		開講年度	2019年度（平成31年度）		科目名	手技実技 2	
科目基礎情報							
開設学科	鍼灸科		コース名			開設期	後期
対象年次	1年次		科目区分	必修		時間数	30時間
単位数	1単位		授業形態	実技			
教科書/教材	東洋療法学校協会 指定教科書						
担当教員情報							
担当教員	宇野悦子			実務経験の有無・職種	鍼灸師 あん摩マッサージ 指圧師		
学習目的							
手技施術の基本技術について実習する。日本の鍼灸施術は「触れる」ことから始まる。したがって基礎技術として、触れる、押す、動かすなどの対人技術の習得が必要とされる。この課程では実際に手技を学ぶことによって人に触れること、身体を操作する技術を身につけることを目的とする。							
到達目標							
人体の構造を体感すると共に、人に触れるための「手」を作る修練とする。手技としては皮膚との直接の接触を行うマッサージの基礎を学ぶ。マッサージの手技を学んでいくうえで、皮膚の状態、筋肉の状態、関節の状態、血液動態などを感じ理解する。更に種々の手技により身体に多くの影響を与えることができることを理解することを目標とする。							
教育方法等							
授業概要	手技施術の理解をし、指圧の基本操作を習得する。練習部位は頭部、腹部、体幹と進み、習得した技術を統合して一連の手技群として流れを構築し総合的な手技として完成させる。						
注意点	授業日数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。講義時間に無連絡で20分以上遅れた場合、受講はできるが出席の扱いをしない。明確な理由が無い早退は出席したとは認めない場合がある。 課題は、本科の規則に従った形式で提出する。特定の指示が有る場合を除いて、手書きでの作成を原則とする。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	試験・課題	100%	実技試験				
	小テスト	0%					
	レポート	0%					
	成果発表 （口頭・実技）	0%					
	平常点	0%					
授業計画（1回～15回）							
回	授業内容			各回の到達目標			
1回	ガイダンス 基本手技について			手技 指圧に関する基本事項を理解する			
2回	頭部			頭部の押圧操作（身体の重心移動を使える）ができる			
3回	頭部			頭部の押圧操作 母指圧（通常圧法）ができる			
4回	頭部			頭部の押圧操作 母指圧（垂直圧、持続圧）ができる			
5回	腹部			腹部の押圧操作（上肢の重さを利用する）ができる			
6回	腹部			腹部の押圧操作 手掌圧（手掌全面を使って腹部の状況を確認する）ができる			
7回	腹部			腹部の押圧操作 手掌圧（呼吸に合わせる）ができる			
8回	肩甲間部			肩甲間部の押圧操作（適切な姿位が作れる）ができる			
9回	肩甲間部			肩甲間部の押圧操作 母指圧（指で筋、骨を確認する）ができる			
10回	肩甲間部			肩甲間部の押圧操作 母指圧（肩甲骨周囲の筋を確認する）ができる			
11回	背部			背部の押圧操作（マットを使い適切な位置取りを確認する）ができる			
12回	腰背部			伏臥位で腰背部の押圧操作ができる			
13回	下肢部			伏臥位で下肢部の押圧操作ができる			
14回	頸肩部			伏臥位で頸肩部の押圧操作ができる			
15回	全身			伏臥位で全身の押圧操作ができる			